

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿&gt;

私たちは、常に安全第一、近隣環境の良化になる工事を心がけ、発注者や近隣住民の利益と満足度の向上に務めるとともに、客観性と透明性の高い経営体制を維持することで、地域社会の為に、「持続可能な社会」に貢献する企業を目指す。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標&gt;

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
◎環境 ◎社会 ◎経済	<p><b>年齢、性別、これまでの経歴等を問わない人材採用及び育成の実施</b></p> <p>① 女性の社外取締役または社員を起用し、第三者目線でのアドバイスや経験を取り入れる。</p> <p>② 若手人材の採用の積極化。</p> <p>③ IT、デジタル化に関する業種での就業経験がある人材を採用している。</p>	<p>① 2021年末時点0名 →2022年1名採用(実施) →更新時までに1名(目標)</p> <p>② 2021年末時点0名 →更新時までに1名(目標)</p> <p>③ 2021年末時点0名 →2022年1名採用(実施) →更新時までに1名(目標)</p>
◎環境 ◎社会 ◎経済	<p><b>ペーパーレス化</b></p> <p>設計図面や各下請け業者との図面や見積のやり取りをクラウド化し、印刷に掛かるコストや紙の削減を積極的に行っている。</p>	<p>・2021年→10%削減 (前年対比実績の実績)</p> <p>・2022年末までに2020年の20%を削減目標とする</p> <p>・更新時までに2020年の50%を削減目標とする</p>
◎環境 ◎社会 ◎経済	<p><b>デジタル化(テレワーク等)</b></p> <p>Web会議システムの導入を積極的に行ない、内勤社員及び現場技術者のテレワーク化を促進する事で、自動車での通勤や移動におけるCO2排出の削減を推進している。</p>	<p>・2022年末時点 →在宅勤務率40%を目標とする。</p> <p>・更新時までに在宅勤務率60%を目標とする。</p> <p>&lt;現状実績&gt; ※2021年～2022年は1名の現場技術者のテレワーク(自宅⇄現場事務所)を試験的に運用し、当人の在宅勤務率を30%前後としている。</p> <p>※注: 在宅勤務率の定義として、自宅⇄作業現場等の往復等も含むものとする。</p>

## &lt;パートナーシップ&gt;

一般社団法人熊本県肢体不自由児協会やその他NPO法人とのボランティア活動連携及び寄付活動を行なっている。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。